

トムソンネット アドバイザ

片江 有利 （かたえ ありとし）

1974年 大正海上火災保険（現三井住友海上火災保険）入社

在職中はシステム企画、損保商品開発（積立保険）、代理店営業推進、経営企画、生保事業立上げ、金融法人営業（生保会社損保提携責任者）等を歴任。

1998年三井みらい生命(現MSA生命)に出向、生保商品開発部長、システム部長、コンプライアンス・リスク管理等部長等のスタッフ部門責任者を歴任。

2006年より株式会社プロシードに移り、ITサービス事業、コールセンタ向けCOPC事業部門長を経て、事業開発部にて組織土壌改革等のコンサルタント業務やPMコンサルティング、研修講師を務める。

講師・コンサルティングのエリアでは、PM研修、組織活性化研修、管理者研修などの講師としてIT系企業、損保、損保系システム会社、ネット専門銀行、大手卸売業、製造業、サービス業、公共（県庁、市役所）等で多くの実績がある。

JMAM通信講座「成果を高めるプロジェクトマネジメントコース」テキスト執筆

2006年よりPMI日本支部理事を務め、現在PMI日本支部副会長

PMP、ITILファウンデーション、COPC登録コーディネータ、金融内部監査士、日本FP協会AFP他

担当エリア

損害保険講座・基本コース

システム監査支援

生命保険システムと事務

金融監督行政全般

損害保険システムと事務

川上 洋 （かわかみ ひろし）

1978年 安田火災（現損害保険ジャパン）入社

事務部門4年、商品業務部門10年、企業営業部門7年、海外事業部門15年（うち海外駐在12年）、内部監査部門1年の勤務後、2015年退職

商品業務は、技術保険（建設工事保険、ボイラ・機械保険、原子力保険等）の商品開発、収支管理、再保険手配、国内外の各種建設プロジェクトにかかる保険設計・営業支援などを幅広く担当

企業営業は、国内外にて日系グローバル企業、商社、外資系企業などを担当
海外事業は、米国、インドネシア、英国において損保子会社の経営計画策定・実施、リスク管理、現地監督当局対応などの経営管理を担当
内部監査は、本社部門の内部監査、本社部門全体の内部監査計画策定を担当

著作

- 『建設業者のための損害保険の基礎知識』
（安田火災海上保険編 共著・清文社 1986年発行）
- 『図説 損害保険ビジネス 第3版』
（共著・金融財政事情研究会 2018年発行）
- 『図説 損害保険ビジネス 第4版』
（共著・金融財政事情研究会 2022年6月発行）

担当エリア

損害保険講座・基本コース
損害保険講座・上級コース
図説・損害保険ビジネス
海外の保険業界動向
代理店ビジネス・アドバイス
デジタル革命と保険ビジネス
課題解決プログラム
再保険ビジネス・アドバイス

川崎 宗夫 （かわさき むねお）

1973年 千代田火災（現あいおいニッセイ同和損害保険）に入社。
システム部門、損害調査部門、顧客サービス部門、生保数理部門、損保商品開発部門を経験。
開発した保険プライシング手法のコア部分を純化して、3件の特許を取得。
2009年トーア再保に転職、2015年定年退職。
その後特許業界にて、統計論に基づく特許価値評価方法の特許を取得。

日本アクチュアリー会正会員、日本統計学会正会員。

発明した特許

- ・企業倒産確率予測システム（2008年特許取得）
- ・車両残価予測システム（2009年特許取得）
- ・延長保証ロスコスト予測システム（2009年特許取得）

・特許価値評価方法（2020年特許取得）

担当エリア

アクチュアリアルサポート

少額短期システムと事務

再保険ビジネス・アドバイス

川野 眞一郎（かわの しんいちろう）

1977年 明治生命（現明治安田生命）に入社。

37年間の勤務後2014年定年退職。

数年の企画部、事務業務部・事務サービス企画部在籍を除き、大半を情報システム部門に在籍しシステム開発保守、マネジメントを経験。

情報システム部門では、主に個人保険システムの開発保守、システム計画、営業拠点システムの展開教育、システム統合開発の管理を担当。

その後明治安田システムテクノロジー（株）にて開発組織のマネジメントを担当

明治安田生命退職後は5年間（株）第一情報システムズにおいて営業・管理を担当。

担当エリア

生命保険講座・基本コース

生命保険講座・上級コース

生命保険システムと事務

川添 久彰（かわぞえ ひさあき）

1980年安田火災海上保険（現損害保険ジャパン）入社。営業部門17年半、商品部門11年半、経営企画・査定等5年を経て2014年退社。

企業営業の14年間は、主に総合商社やメーカーにおける貨物海上保険・海外工事保険を担当し、地区営業の3年半では全てのチャンネルにて生損全種目を担当。

商品部門では、貨物海上保険をはじめとするマリン種目および傷害保険・所得補償保険をはじめとする第三分野種目を担当。同時に、医療・介護に関わる新事業開発を兼務。

経営企画としては、主に金融庁や業界対応業務に従事。

2014年から4年間は、経済産業省所管の（一社）低炭素投資促進機構において、主に、低炭素設備に係るリース信用保険の引受・査定、再生可能エネルギーの固定価格買取制度における費用負担調整業務、および地産地消型再生可能エネルギーの導入促進補助金審査業務を担当。

2018年から3年間は、SOMPO未来研究所（現SOMPOインスティテュート・プラス）において、主に、保険、社会保障・ヘルスケア、気候変動に関する調査研究を担当。

現在、保険毎日新聞社において、主に行政関連の記事を執筆。

担当エリア

損保講座・基本コース

金融監督行政全般

岸部 正幸 （きしべ まさゆき）

1969年、AIU保険会社（現AIG損害保険株式会社）に入社。1976年、AIGニューヨーク本社にて1年間研修。その後、本店火災業務部や外国営業部に所属。1986年、米国大手保険ブローカー会社ジョンソン&ヒギンズ（株）に入社。1989年、ドイツでのグループ会社、Jauch & Huber GmbH社（ヤオホ&ヒューベナー）へ出向。アカウント・ディレクターとして欧州地域での日系ビジネス開拓を担当。1997年、上記会社がエーオン・コーポレーションに買収されたことによりエーオン・ドイツに転属。2008年、通算19年間の欧州勤務後日本に帰国しエーオンジャパン株式会社にて勤務。

2011年、共立インシュアランス・ブローカーズ株式会社との業務委託契約により2024年6月まで勤務。主として、外資系企業のプロジェクト・ファイナンス関係、インターナショナルスクール、海外案件などを担当。（損害保険関係全般）

北村 佳彦 （きたむら よしひこ）

1981年、大東京火災（現あいおいニッセイ同和損保）入社

入社時システム部門に配属、以来、主としてシステム開発に従事。

分散型営業事務システム、代理店システム等の設計・開発・マネジメントを担う。

1996年に生保子会社（大東京しあわせ生命（現三井住友海上あいおい生命））に出向、7社共同プロジェクト（KLIP）に参画（事務局担当）。

2001年千代田火災エビス生命との合併によるシステム統合、2007年富士通アウトソーシングからの離脱・自社化、2011年三井住友海上きらめき生命との合併によるシステム統合等の大型プロジェクトにPMOとして参画。

2016年MS&ADインシュアランスグループホールディングス監査部に出向。
グループ各社のシステム監査・審査を担当。

資格

FP技能2級

2級知的財産技能士（管理業務）

生保応用過程（シニア・ライフ・コンサルタント）合格番号:9800785491

金融内部監査士

日本防災士機構 防災士

担当エリア

損害保険システムと事務

栗山 泰史（くりやま やすし）

1975年 安田火災海上保険（現損害保険ジャパン日本興亜）入社

商品業務部門（賠償責任保険）10年、安田総合研究所出向3年、企画部門（行政・業界対応）7年、広報部門6年等を経て、2009年退社。

その後、2013年まで日本損害保険協会

損保協会では、東日本大震災対応、業務の共通化・標準化の推進、日本代協との連携強化に注力した。

保険募集制度、保険代理店経営、地震保険制度、製造物責任等について、

図書出版、学会誌・業界紙等への投稿、講演活動等多数。

2013年、損保協会シニアフェロー、日本代協アドバイザー、リングの会アドバイザーに就任、現在に至る。

他に、(一般社団法人)みんなのほけん検定協会理事、アニコム損害保険(株)社外取締役、(株)格付投資情報センター監査役 等

担当エリア

保険募集制度の歴史的転換

変わり続ける保険事業

保険募集制度

保険代理店・顧客本位業務運営

金融監督行政全般

小島 修矢 (こじま しゅうや)

大東京火災（現あいおいニッセイ同和損害保険）出身、在職中は、再保険取引及び海外事業全般に長年携わる一方(30年間)、保険・金融の自由化、規制緩和に対応し海外市場調査や新商品の開発等（7年間）を担当後、定年退職

その後、再保険スペシャリストとして損害保険とリスクマネジメントに関する研究・教育活動に軸を移し、クエスト コンサルティング ロンドン社 顧問、千葉商科大学 商経学部 非常勤講師（損害保険論）、日本損害保険協会 委嘱講師（再保険と代替的リスク移転等担当）、(株) 保険研究所「インシュアランス 損保版」客員論説委員などを歴任

現在、危機管理システム研究会理事、(株) トムソンネット シニアビジネスパートナーとして、主に海外の保険業界の動向、自動運転時代のリスクと保険についての調査、研究活動に従事

主著に

『大震災後に考えるリスク管理とディスクロージャー』（共著・同文館出版）

『図説 生命保険ビジネス』（共著・金融財政事情研究会）

『ニューヨーク州損害保険法(2013年度段階)』（共訳・損害保険事業総合研究所）

『図説 損害保険ビジネス 第3版』（共著・金融財政事情研究会）

『図説 損害保険ビジネス 第4版』（共著・金融財政事情研究会）

担当エリア

損害保険講座・上級コース

損害保険特別講座

図説・損害保険ビジネス

図説・生命保険ビジネス

自動運転時代のリスクと保険

海外の保険業界動向

代理店ビジネス・アドバイス

少額短期保険システムと事務

デジタル革命と保険ビジネス

課題解決プログラム

再保険ビジネス・アドバイス

後藤 進弘 (ごとう しんひろ)

1980年、「大東京火災（現あいおいニッセイ同和損保）」に入社。

在職中は、自動車損害調査システム、営業系コールセンターシステム、関連ネット系損保システムの開発マネージャーを務めた後、2013年よりロードサービス運営関連会社に出向し、コールセンターシステム開発マネージメントを担当。

資格：情報セキュリティマネジメント、特種情報処理技術者、ビジネス著作権検定上級

担当エリア

損害保険システムと事務

今野 喜夫 （こんの よしお）

1979年、大東京火災（現あいおいニッセイ同和損保）入社

個人、法人営業部門を経て、1988年から本社事務システム企画部門に在籍し

事務業務企画、基幹システム開発に関するユーザー窓口を担当

2001年、千代田火災合併に際して事務システム部門の事務統括を担当、

合併後は本社業務管理部門部長を経て、2004年から事務専門会社（現MS&AD事務サービス社）へ取締役として出向

以降、事務業務専門会社の業務推進担当および経営企画担当取締役としてニッセイ同和損保、三井住友海上社との事務システム統合を統括

1988年以降、28年間一環して事務業務部門のユーザ側企画担当として

基幹システム開発、合併対応、事務業務改革等に携わり、2016年3月定年退職（以降、事務専門会社にてAI関連業務等を担当し2023年3月末に退職）

担当エリア

損害保険講座・基本コース